

Shinsei
2021 Vol.37

2021年2月10日 発行

医療法人 厚生会 道ノ尾病院「新星」Shinsei編集部
〒852-8055 長崎市虹が丘町1番1号
TEL 095-856-1111 FAX 095-856-4755

新星

庭字：松本 寿美子



CONTENTS

- 2 新年のあいさつ
- 3 摂食・嚥下障害の食事形態
- 4 電気けいれん療法（ECT）が始まりました
- 5 ADHDに用いるコンサータ®の運用について
- 6 新型コロナウイルス感染拡大による物質使用・嗜癖行動にご注意
- 7 訪問看護ステーションすみ香とは

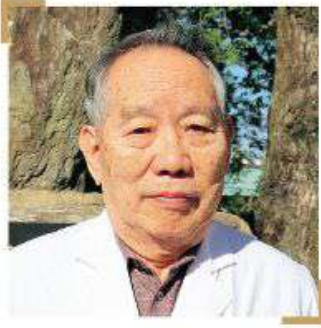
基本理念 患者第一主義

基本方針

- 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します
- 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します
- 患者の権利を認識し、尊重します
- 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します
- 職員研修を行い、常に研鑽に努めます
- 健全な病院経営に努めます
- 患者の社会復帰に努めます

新年のご挨拶

理事長 松本 純隆



新しい年を迎えるにあたって皆様にご挨拶させていただきます。

旧年中は皆様方に格別のご支援をいただきありがとうございます。これまで以上に地域のために貢献できる道ノ尾病院、虹が丘病院でありたいと

考えております。

令和2年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症に振り回された1年であったと思います。1月に中国武漢を始めとする新型コロナウイルスが確認され、日本においても春には第1波の感染者が急増し、感染力がとてつもなく強いため医療機関も対応に追われました。緊急事態宣言があり、日本中で移動等の活動ができない状況でした。夏の第2波においても感染対策がなかなか進まず、マスク等の備品調達に苦慮しました。道ノ尾病院においても、面会や外出外泊の禁止を行いました。外来においても発熱者の対応として様々な取り組みを行い、患者様、ご家族様にご迷惑をおかけしました。

8月下旬には歯科の職員が1名新型コロナウイルス感染で陽性が確認されました。院内感染を防ぐため、多くの方にPCR検査を行い、全員陰性を確認し、幸い院内感染はありませんでした。多くの方々にご心配をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。今後

共院内感染を起こさないよう全力で取り組んでいきたいと考えております。

また、11月から感染が収まっていない状態でのGOTO トラベル、イートが始まり結果的に感染者、重症者の急激な増加が起こっており、第3波と言われております。

令和3年の始まりは引き続き新型コロナウイルス感染症対策が重要となるのは間違いありません。幸いワクチンの供給が始まりそうな状況で、夏のオリンピックを無事迎えられたらと切に願っております。10月より感染症の専門医である安岡彰先生が道ノ尾病院に常勤医としてご勤務いただいております、さっそく他の先生方と一緒に感染対策、職員への指導にあたっていただいております、心強く感じております。

虹が丘病院においては、高齢者の対応として整形外科を開設し、今年夏頃には新しい建物を建設し、眼科を開設したいと考えております。併せて調剤薬局を始めることとなりますので、今後外来診療では院外処方となることをご承知おき下さい。その後になると思いますが、コンビニエンスストアの建設も計画しております。詳細は後日ご報告することとなりますが、工事に際しては多くの皆様方にご迷惑をお掛けしますことを前もってお知らせさせていただきます。

皆様方にとってもすばらしい1年であることを心から願っております。医療法人厚生会、道ノ尾病院、虹が丘病院をよろしく願い申し上げます。

院長 松本 一隆



令和3年を迎えるにあたり、御挨拶申し上げます。

昨年は、日本のみならず世界中が新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でした。ダイヤモンドプリンセス号から始まり、日本中への感染拡大、

長崎でもコスタアトランティカ号乗員感染。その後、全国的に一時は感染減少傾向にあったものの、go to travel、go to eatなど政府の経済対策の影響もあり、年末にかけて感染者数は増加し、長崎県内でも数か所でクラスターが発生するなど、収束の兆しはみえません。昨年予定されていた東京五輪は今年に延期、各種イベント中止、医学界でも多くの学会や研修会などが中止や延期となり、当院でも毎年行っている花祭り、夏祭りその他すべて中止となり、また、患者様の楽しみである売店や院内散歩、家族面会、院外外出、外泊などの制限を行うことで、患者様より楽しみを奪うこと

となり、日常生活や治療に少なからず悪影響を及ぼしております。昨年10月より当院に勤務頂いております感染防御が御専門の安岡彰先生という力強いスタッフも加わり、当院で可能な限りの感染防御対策を行っております。今年は感染が収束し、患者様が以前のような生活ができるようになることを願います。

このような中、昨年12月3日より、当院にてm-ECT(修正型電気けいれん療法)が行えるようになりました(週2日月、木午前)。1年近く前より、大坪郁子医師、畑田けい子医師と看護部を中心に、準備委員会を立ち上げ、長崎県立精神医療センターや若草病院(宮崎市)などより、医師や看護師、麻酔科医師に御講演頂くなど多くの方々よりの御指導を賜りながら準備を行ってきました。長崎県の民間病院では初めてであり、現在当院で40例程使用しているクロザピンとともに、患者様の回復に貢献できればと思います。先にも書きましたように、今年は新型コロナウイルス感染症が早く収束し、以前の生活に戻れるように祈っております。何卒御指導の程宜しく願い申し上げます。

道ノ尾病院・虹が丘病院合同 摂食・嚥下の勉強会

日々の生活の中で食事は楽しみの1つです。患者様にあった食事形態を選び、毎日の食事を安全に一口でも多く口から美味しく食べていただけたらと思います日々努めています。

【道ノ尾病院で提供している食事形態の種類】

- 普 菜：揚げ物、パン、麺など様々なメニューを提供しています。
 - 軟 菜：揚げ物は提供しません。また、ごぼうや筍など硬い食材を除いています。
 - 切 菜：軟菜を1～2cm程度刻んだものです。
 - みじん菜：みじん切りに刻んだものです。口の中でばらけやすいため、とろみをつけています。
 - ソフト食：舌でつぶせるムース状のおかずになります。
 - ミキサー食：ソフト食をミキサーにしたものです。
- 普菜、軟菜にそれぞれ一口大の対応もしています。



普菜・軟菜



切菜



みじんトロミ

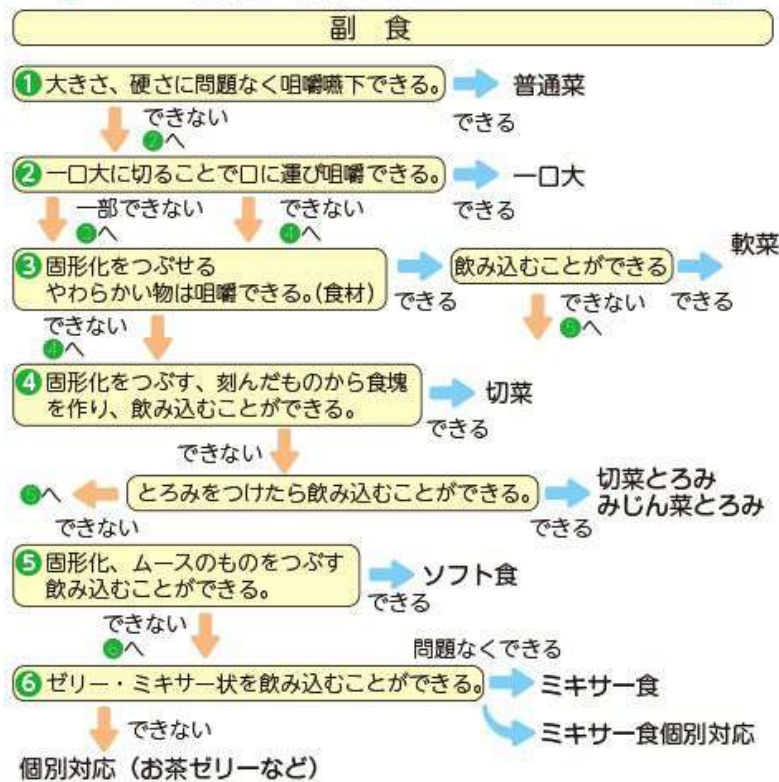


ソフト食



ミキサー食

【道ノ尾病院の副食形態のアルゴリズム】



【お茶ゼリー・味付きゼリーについて】

道ノ尾病院では、お茶ゼリーや味付きゼリーを提供しています。

お茶ゼリーとは…

沸かした麦茶にゲル化剤を入れて固めたものです。毎日、栄養課で手作りしています。

味付きゼリーとは…

水分補給用ゼリーの素 (イオンサポート) をお湯で溶かして固めたものです。必要な病棟へ商品をお渡し各病棟で作ってもらっています。

【飲み込みやすい条件】

- ・適度な粘度があり、嚥下がしやすいもの
- ・口腔や咽頭を変形しながら滑らかに通過するもの
- ・べたつかず喉ごしが良いもの
- ・密度が均一であるもの



【家庭でできる調理・料理の工夫】

- 噛みやすい大きさにカットする。やわらかく煮る。
- パンなど水分が奪われるものには適度な水分を含ませる。
- 油脂やつなぎでパラつくものをまとめる。
- サラサラした液体にはとろみをつける。



一例です。家庭でも調理を工夫して誤嚥を予防しましょう！

- ・パンなどパサつきがあるものは、スープにつけて食べる。
- ・ゆで卵やブロッコリーなどはマヨネーズを混ぜて食材をまとめる。特に、黄身はばらけやすいので、マヨネーズでまとめると誤嚥を防ぐことができます。
- ・煮魚は煮汁をだし汁で薄めてとろみをつけ、刻んだ魚にとろみをかける。
- ・野菜の和え物はだし汁にとろみをつけて、きざんだ野菜に加え混ぜる。

ECT

12月3日から当院でECT（電気けいれん療法）が始まりました



2020年12月より当院でECT（electroconvulsive therapy 電気けいれん療法）が始まりました。全身麻酔後、筋弛緩薬を投与し頭部に通電して治療をします。ECTは80年の歴史がある治療ですが、改良を重ねられ安全性の高い治療になりました。最近では副作用が少なく効果が高い精神科治療薬が増えていますが、それでもECTは今もなお必要とされている治療法だと思います。現在のECTの適応疾患ですが、うつ病、躁病、統合失調症、慢性疼痛の治療に用いられるなどしています。ECTの一番の長所は即効性です。的確な判断のもとなされたECTは精神神経症状の劇的な改善をもたらします。そのため重症うつ病で希死念慮が著しく、薬物療法の効果が出るまで待てない患者さん、昏迷状態で食事や水分摂取が出来ず服薬も出来ない患者さんには早い段階で選択されます。また副作用の為、十分な量の薬を使えない患者さん、薬物療法で効果が得られない患者さん、以前ECTが著効した患者さんも適応があります。最近では、治療抵抗性統合失調症の治療にクロザピンと併用して用いられることも増えてきました。今までの薬物療法で幻覚や妄想が改善しなかった患者さんでも幻聴が消失するなど良い治療効果が得られています。ただ、ECTは著効する方もおられれば、無効な患者さんもおられます。また、性格が変わる治療ではありません。

当院でのECTですが、主治医がECTの適応があると判断した場合、当院のECTカンファレンスで複数の精神科医、看護師、臨床心理士、精神保健福祉士で話し合い、適応について判断します。それからECT前検査の血液検査、胸部、腹部レントゲン、頭部MRI、脳波、心エコー、歯科受診、眼科受診をして必要であれば胸腹部CT、下肢静脈エコーなどを施行し内科医、麻酔科専門医と主治医が協議しECTが出来

るか判断します。患者さん、患者さんのご家族に主治医から丁寧に治療について説明をし、患者さんの同意、または患者さんが同意できない場合はご家族の同意で治療を開始します。

当日までの準備ですが薬剤師と主治医、麻酔科医が相談をしECT前に中止した方が良い薬剤について検討し、薬物調整をし麻酔科医の診察をします。

治療前日は21時から絶飲食になります。当院では月曜日と木曜日の午前中にECTをしています。治療は15分位で終了しますが、1時間程度隣接する回復室で休んで頂き、血圧、呼吸、心電図をモニタリングして観察し、状態が安定すれば看護師付き添いで病棟に戻ります。問題が無ければ、当日の昼食から食べることが出来ます。当院では一般的には週2回、6回～10回の治療を1コースとしています。

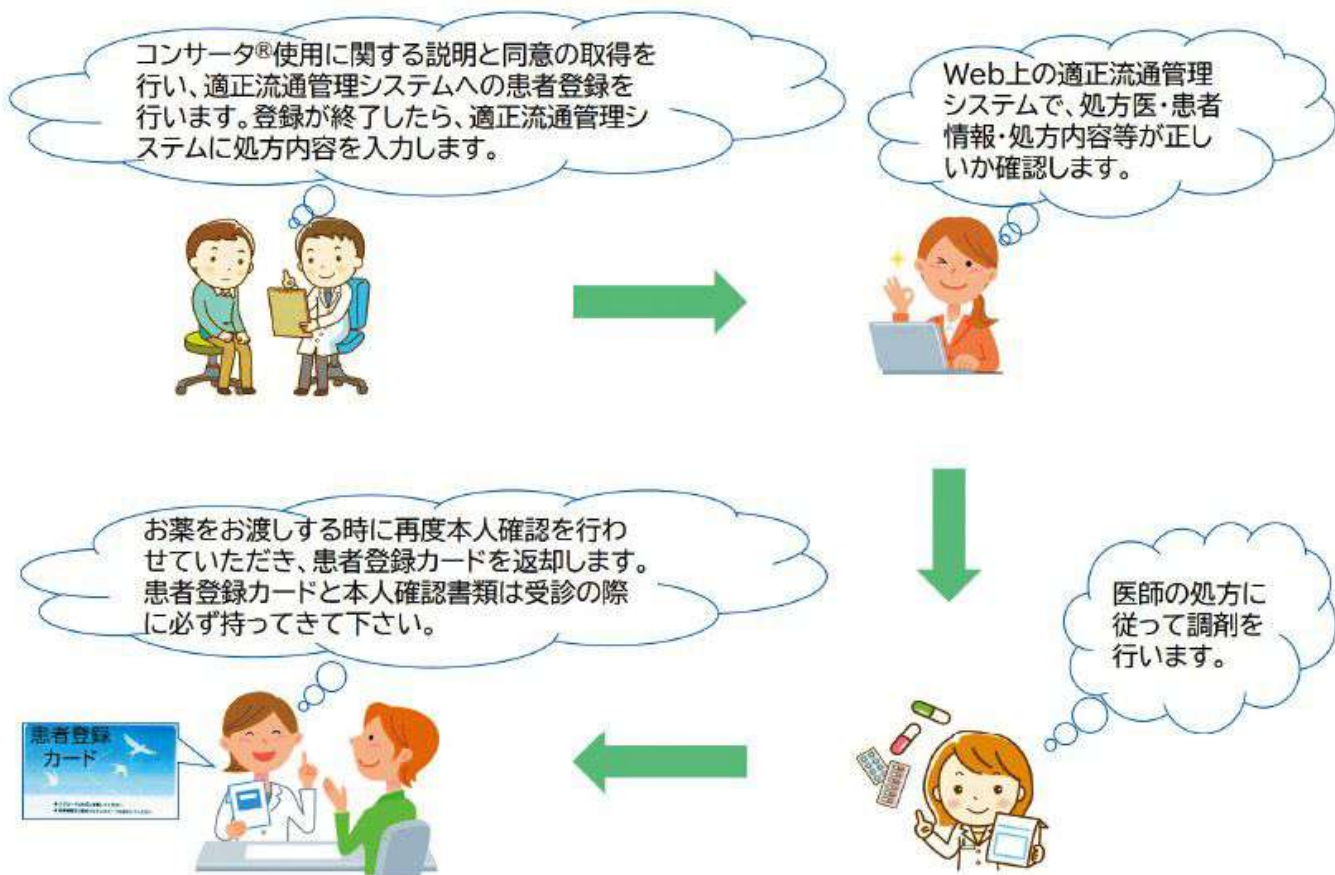
ECTをご希望の際は当院までお尋ねください。

精神科医 大坪 郁子



長崎県精神医療センターの先生方、看護師さんにECTのご指導をして頂きました。ありがとうございました。

ADHD適正流通管理システムを用いた コンサータ® の運用について



当院では、AD/HD（注意欠陥/多動性障害）に用いる薬物療法としてコンサータ®・アトモキセチン・インチュニブ®の3種類を採用しています。その中でもコンサータ®は中枢神経を刺激することで脳内の神経伝達機能が改善され、注意力の散漫や衝動性、落ち着きのなさといった症状が改善されることが期待されます。しかし、中枢神経刺激作用があるため、第1種向精神薬（厳重に管理する薬）に指定されているお薬です。

従来からコンサータ®は病院内で厳重に管理され、コンサータ®登録医によって適切に処方されていましたが、2021年1月1日以降はADHD適正流通管理システムを用いて登録を行わないと、コンサータ®をお渡しできなくなりました（アトモキセチンとインチュニブ®は従来と変わらずお渡しできます）。図にADHD適正流通管理システムを用いた流れを載せていますが、ご覧いただくとわかるように、コンサータ®をお渡しするまでに複雑な流れとなっています。これは「AD/HD（注意欠陥/多動性障害）の

診断・治療に精通した医師によって適切な患者さんに対してのみ処方されるとともに、薬物依存を含む本剤のリスク等について十分に管理できる医療機関及び薬局においてのみ取り扱われるように」と国がルール付けしたシステムに則った運用方法となっているからです。

当院は外来処方を院内で調剤していますが、患者さん本人が来院しているとわかっていても、本人確認書類を提示していただかないとコンサータ®をお渡しできないため、お手数ですが、本人確認にご協力をお願いします。コンサータ®は服用用法が朝食後と決められていたり（服用を忘れた場合には午前中であれば服用可）、特殊な製剤のため一包装ができないといった特徴があるお薬です。もしコンサータ®や他のお薬に疑問点があれば、お気軽に薬剤師へ声をかけて下さい。

薬剤師 洲上 朋一



新型コロナウイルス感染拡大による物質使用・嗜癖行動にご注意！

道ノ尾病院 アルコールスタッフ

2020年は、新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的大流行により、我々の生活が大きく変化した一年でした。当院ARP（アルコール・リハビリテーション・プログラム）でも感染予防のために、アルコール治療には欠かせないミーティングが出来なくなったりと、これまでの治療を根本から考え直さざるを得ない状況になりました。また、多職種で構成されているスタッフ間の意思疎通も、マスク越しで密を避けることによってスムーズにいかなくなってしまいました。「コロナ禍」は人と人との繋がりを断ち切るという社会的な問題を実感しています。

社会的にみると、コロナ禍において、アルコールや薬物などの物質乱用や嗜癖行動（ゲーム、ネット、ギャンブル、食べ過ぎ、買い物等々…）の問題も広がっているといいます。世界保健機構（WHO）や厚生労働省からも、コロナ禍の依存症対策と注意喚起がなされています。アルコール治療を行う医療機関として皆様の心身の健康のために、要約して情報提供をさせていただきます。

*参考
資料

WHO による COVID-19 の世界的流行時の物質使用および嗜癖行動に関する注意喚起文書
（依存症対策全国センターによる日本語訳）

https://www.ncasajapan.jp/pdf/info20200410_jp.pdf

精神的不安や苦痛の増大に伴う、代替方法としての物質使用、嗜癖行動

新型コロナウイルス感染への恐怖や不安に加え、経済的、家庭的な不安や、また感染して周囲に迷惑を掛けたらどうしようといった社会的な不安もあります。人との繋がりを極力減らす『三密回避』『ステイホーム』により、人々は孤立していきました。暖かい家族や家庭がある方はまだ救いがありますが、家族関係や人間関係に問題を抱えている方々にとって、この孤独と先が見えない不安や苦痛は想像を絶するもので、そこから逃れるためにアルコールなどの物質やゲーム、ネットなどの嗜癖行動に走る方が増えているといわれます。コロナ以前と比べて使用や行動の頻度が増えている方は、出来るだけ早く少なくとも以前の状況まで戻していただくことをお勧めします。

ステイホーム、施設閉鎖による影響

会社では在宅勤務が増え、学校も一時的には休校になり授業も行事も縮小し大人も子どももオンラインで画面の前にいる時間がコロナ前に比べて格段に増加したと思います。機会が増えるとそれが当たり前になり、長時間テレビや動画を見たりゲームをしたりする罪悪感が薄れていきます。また、行動規制によりすることが減って、自宅で一人で手軽に出来ることとしてゲームやアルコールなど中毒性の高い行動が気付かないうちに習慣化してしまう危険性が高くなります。



物質使用や嗜癖行動による障害のある方について

現在治療を受けている方や自助グループにつながっている方は、コロナ禍でこれまでの治療や行動を継続することが難しくなっていくかもしれません。また身体合併症をお持ちの方やご高齢の方は、感染のリスク（重症化することも）が高いといわれています。ご自身のリスクを考慮され感染予防に努めてください。さらに、使用障害の治療も出来るだけ継続できるように、主治医やスタッフにご相談ください。

効果的な対処法

- 健康な身体を維持することで、ストレスホルモンを低下させ免疫機能を高めることが期待されます。適切な睡眠や食事を心がけましょう。また可能な範囲で適度な運動を日常生活に取り入れましょう。
- 自分に合ったリラックス法を取り入れましょう。（呼吸法、ヨガ、入浴、ストレッチ、ウォーキングなど）
- 家族と充実した時間を過ごすようにしましょう。（家族で出来るゲームなど）
- 公共の報道など信用できる情報源から情報を得るようにし、あいまいな情報やデマに振り回されないようにしましょう。
- 不安や気分を暗くさせるニュースや情報は減らしましょう。最新の情報は一日1～2回程度、決まった時間に仕入れるようにしましょう。
- 在宅勤務の人は、仕事のonとoffを分けるように意識しましょう。（時間や環境を分ける、服を着替える、一日のスケジュールを立てるなど）



新型コロナウイルスで心配されるアディクションについて「5つの注意喚起」
日本アルコール・アディクション学会
<http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/jmsas/news/1854.html>

1. ゲームや娯楽に関するインターネットに費やす一日当たりの時間が、新型コロナの問題が出る前と比べて増えている方は、新型コロナの問題が出る前に費やしていた時間程度になるようご注意ください。
2. 飲酒量が新型コロナの問題が出る前と比べて増えている方は、新型コロナの問題が出る前に飲んでいた程度の量になるように心がけていただけますようお願い致します。飲み始める時間が早まった方は、元の時間にお戻しいただくことをお勧めいたします。
3. ゲームや飲酒以外でもやめられなくなる可能性がある行動（喫煙、ギャンブルなどのアディクション）で、新型コロナの問題が出る前と比べて量が増えたり費やす時間が増えたりしている場合は、元にお戻しいただくことをお勧めいたします。
4. アディクションにならないように、またアディクションが悪化しないように、友達や親戚との電話、人と距離をとった近所の散策や家での体操、見たかった映画や過去のビデオ・写真の観賞、読みたかった本の読書、テレビの視聴などをバランスよく組み合わせて、夜更かしをしないなど規則正しくお過ごしいただくことをお勧めいたします。
5. ご家族や周りの方々にアディクションの問題が心配な場合は、ご本人にご注意いただけますようお願い致します。もしご注意の効果がなかったり、ご注意することで悪化を招く恐れがあったりする場合は、お近くの精神保健福祉センターや専門医療機関などの関係機関へ、まずは電話でご相談いただくことをお勧め致します。



当院では、感染予防を徹底しながらアルコール問題の治療を行っております。
アルコールの問題でお困りの方は、ご相談ください。

訪問看護ステーションすみ香のご紹介

訪問看護ステーションすみ香 管理者 福井 常久 (看護師)

精神的な病気は長期的な入院・治療を必要とする事も多く、さらに高齢化社会が進み独居での暮らしから相談相手が居ないなど地域生活に順応していくのに様々なストレスを抱える方が増えています。

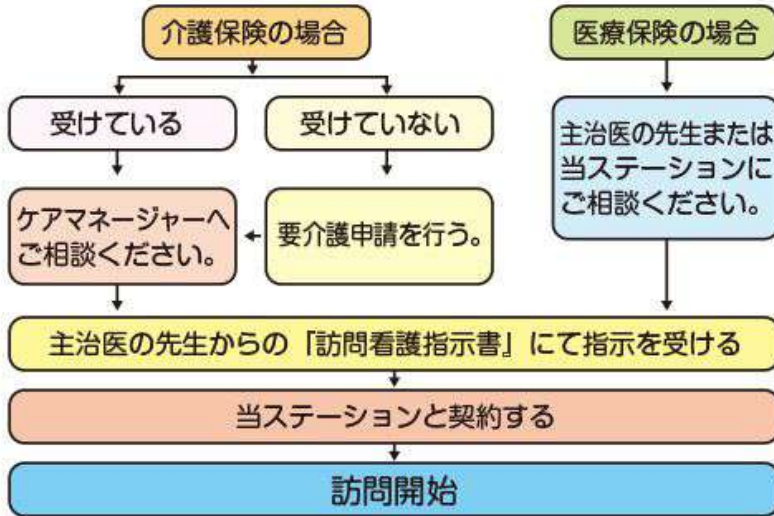
訪問看護は主治医の指示のもと、身体、精神症状の観察と服薬の重要性を伝えつつ、診察で伝えられない利用者の思いや希望、目標を主治医へ代弁や相談する事もあり、安心して相談してもらえるよう利用者との信頼関係を築く事が最優先の課題です。食事、清潔、排泄、運動などの日常生活活動でも残存機能を生かせる為の支援を利用者と一緒に模索する事や、また病院以外にもDC、ヘルパー、ケアマネなど様々な職種と意見交換し、地域社会での生活を継続して過ごせる計画を提案し、時に見守り、時に支

えながら同じ地域に住む住人としてサポートしています。もちろん毎回成功する事ばかりではありませんが、繰り返し経験する事で一歩踏み出せたと自信に繋がっていくと思ひ、日々訪問させて頂いています。

訪問看護を受ける際「金額が気になる」との声も良く聞かれます。それぞれ加入、利用されている公的医療保険で金額が多少変化しますが、精神科に外来通院されている方が利用できる自立支援医療受給という公的助成金制度を利用する事で自己負担が1割となり、収入額により上限額も決まっていますので負担金も抑えられます。

どうぞお気軽にお問い合わせください。

訪問看護を受けるには



長崎市エminent葉山町2番5号2階
TEL 090-855-0511
FAX 095-855-0550



©2018 VVN

道ノ尾病院はV・ファーレン長崎を応援しています



医療法人厚生会

- 道ノ尾病院 ○虹が丘病院
- みちのおメンタルクリニック
- 宿泊型自立訓練事業所 ふれあい
- 就労継続支援B型・就労移行 ワークステーションかいこう
- 訪問看護ステーション すみ香
- ヘルパーステーション にじいろ
- 相談支援事業所 にじいろ ○居宅支援事業所 にじいろ
- れいんぼうハウス滑石 ○住宅型有料老人ホーム ほの香

社会福祉法人新生会

- 特別養護老人ホーム 望星荘
- 障害者支援施設 虹が丘学園

【医療法人厚生会 道ノ尾病院ホームページ】

<https://www.michinoo.or.jp>

道ノ尾病院

検索



モバイルの方



スマートフォンの方

パソコン・スマートフォン向け

道ノ尾病院 新着情報通知のお知らせ

道ノ尾病院HP上に出るポップアップを通知許可していただくと以降、新着更新情報をプッシュ通知で受け取ることが出来ます！

パソコンやアンドロイド端末はアプリ不要で直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。

※iOS端末 (iPhone・iPad) は「みんなのお知らせ」アプリをインストールし、お知らせ通知を許可するだけで以降、直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。



通知許可ボタン表示